

平成21年9月30日

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査結果報告

広島市立中広中学校

はじめに

この調査は、『学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、特に、「読み・書き・計算」などの基礎的な内容とともに、思考力・判断力・表現力などの定着状況や、生徒の生活や学習に対する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握することをおして、各学校が自校の課題を明確にし、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることを趣旨としている。(教育委員会説明)』という趣旨で中学2年生を対象に平成14年度から実施されているものである。

調査の内容は、生活や学習全般と国語・数学・英語の3教科である。

生活・学習の調査結果について(右表)

各質問に対し、前向きな回答をした生徒の割合のパーセンテージを、広島県・広島市・中広中学校について示している。現在の中学生一般の状況は広島県の結果から見ることができ、それと比較することで本校の特性も明らかにすることができる。特に県・市と本校との間に差が見られるものには太枠をしている。

■「生活に関する調査」について

- ・自己肯定感や地域の活動に参加していると回答した割合がやや高い。
- ・ゲームやテレビの時間が多い傾向がある。
- ・「調べる」ことが苦手である。

■「学習に関する調査」について

- ・家庭学習が極めて出来ていないことがはっきり出ている。(予習・復習・ふだんや休日の学習時間)
- ・学習動機は「やりなさい」「ほめられたい」といった傾向がある。(自発的でない)

■調査結果から

- 「勉強は苦手だが、学校は楽しい。また、家では勉強せずテレビやゲームをしている」といった生徒像が見えてくる。良いところは伸ばし、より望ましい前向きな中学校生活が送れるよう指導する。
- ・「わかる授業づくり」・・・教え合いや小グループを取り入れた授業展開を工夫する。
 - ・「家庭学習の定着」・・・家で何をどのようにするのか具体的な指導をする。
 - ・「定期テストへの取り組み」・・・学習会や放課後の勉強会を行い、生徒の学習の援助をする。
 - ・「生活の見直し」・・・携帯電話が生活に相当影響を与えている状況が見られる。保護者の方にも協力していただきながら指導していく。

■生活に関する調査

区分	No	質問	回答	県	市	本校
生活習慣	1	毎日朝食を食べています。	あてはまる	93.8	93.9	92.1
	2	ふだん、同じくらいの時刻に寝ています。	あてはまる	82.1	82.1	83.1
	3	ふだん、同じくらいの時刻に起きています。	あてはまる	93.3	92.6	89.3
	4	外に出て運動(部活動を含む)をするなどして体を動かしています。	あてはまる	79.3	78.1	80.3
社会関心	5	新聞やテレビのニュースを見ています。	あてはまる	76.3	73.7	73.6
	6	社会の出来事や事件などに関心があります。	あてはまる	65.1	62.3	65.2
社会体験	7	地域や子ども会などの行事に参加しています。	あてはまる	40.7	33.3	44.4
	8	学校や社会のルールを守っています。	あてはまる	85.1	84.2	83.1
	9	近所の人や家の人にあいさつをしています。	あてはまる	87.4	85.6	82.0
読書動機	10	本を読むのが好きです。	あてはまる	72.4	71.9	69.1
	11	読んだ本の内容について、友だちや家族と話をしています。	あてはまる	44.6	44.4	38.8
	12	家で本や資料などを利用して学習しています。	あてはまる	41.9	40.0	33.7
自己実現	13	将来の夢や目標を持っています。	あてはまる	73.2	72.3	75.8
	14	将来の夢や目標はかなうと思います。	あてはまる	59.0	58.1	58.4
自己効力感	15	自分には、よいところがあります。	あてはまる	59.2	59.5	65.7
	16	自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。	あてはまる	46.0	45.1	43.3
	17	努力すれば、自分もたいていのことはできると 생각합니다。	あてはまる	77.5	78.1	77.5
生活習慣	18	ふだん、1 日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。	2時間未満	33.2	32.4	29.2
読書活動	19	1 ヶ月に何冊くらい本を読んでいますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌を除く)	3冊より少な	66.6	69.5	69.7
	20	1週間、家庭で何時間くらい読書をしていますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌を除く)	1時間未満	66.5	67.4	66.8

■学習に化する調査

区分	No	質問	回答	県	市	本校
全般	1	学校へ行くのは楽しいです。	あてはまる	83.8	84.1	84.8
	2	学校の授業の予習をするようにしています。	あてはまる	32.9	32.7	19.7
学習習慣	3	3 学校の授業の復習をするようにしています。	あてはまる	45.8	43.3	28.7
	4	学校で習ったことをふだんの生活の中で思い起こしたり、利用したりしています。	あてはまる	54.0	53.2	49.4
	5	自分で勉強の計画を立てています。	あてはまる	42.1	41.4	34.3
	6	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。	あてはまる	62.7	63.0	55.6
思考力	7	ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えています。	あてはまる	59.9	61.1	56.2
	8	見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいか考えています。	あてはまる	57.4	57.4	50.6
	9	ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想しています。	あてはまる	74.0	76.0	73.6
	10	自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いています。	あてはまる	62.5	64.0	64.0
	11	ものごとを解決する方法をいくつも考えています。	あてはまる	50.5	51.6	45.5
表現力	12	自分と違う意見も受け入れながら、自分の考えを話しています。	あてはまる	64.0	65.0	67.4
	13	困ったときや腹がたったときなど、解決するために、相手が納得するように自分の気持ちを言葉で伝えています。	あてはまる	61.6	62.5	59.6
	14	なぜ、そうなるのか、理由をつけて話します。	あてはまる	58.9	60.5	62.4
	15	自分の考えや意見を、具体的な例をあげ順序に気をつけながら話していきます。	あてはまる	51.2	52.1	51.7
	16	相手や目的に応じた話し方をしています。	あてはまる	81.1	82.7	83.7
学習動機意欲	17	学習を最後までやりとげて、うれしかったことがあります。	あてはまる	83.1	84.0	79.2
	18	「もっと力をつけたい」、「分かるようになりたい」から勉強しています。	あてはまる	70.2	69.7	62.9
	19	将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強しています。	あてはまる	73.7	71.6	75.8
	20	「やりなさい」と言われるから勉強しています。	あてはまる	45.5	46.7	52.2
	21	ほめられたいから勉強しています。	あてはまる	24.8	26.0	30.9
全般	22	ふだん、家では、1 日に何時間くらい勉強していますか。(学習塾や家庭教師との学習は除く)	2時間以上 してない	10.8 9.7	10.3 11.8	7.3 19.1
	23	休日、家では、1 日に何時間くらい勉強していますか。(学習塾や家庭教師との学習は除く)	2時間以上 してない	18.8 14.9	17.4 16.6	13.5 27.0

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査結果の分析【国語】

四領域の中では「聞くこと」に關しての通過率が最も高く市の平均を上回っている。「読むこと」に關しては、市平均に近いものになっているが、「書くこと」「言語事項」に關しては市平均を若干下回るといふ結果になった。全体的には、市平均を若干下回っている。今後の取り組みとしては、文章を理解しながら何度も読み、「考える」「発表する」という授業形態を定着させ、自分の考えを表現する機会の多い授業を考えていきたい。学習方法やワークシートなどの工夫も必要と考える。また、国語力を高めていくために、家庭学習の定着を図るとともに、日常の読書活動にも力を入れていきたい。

○「聞くこと」に關して

市の平均と比較して6ポイント近く高くなっているが、1年生の時から「聞き取りテスト」や講演会など、機会あるごとに「メモ」を取りながら話を聞くという活動を続けてきたことにより、「聞く力」はかなり身についてきていると考える。今後も「聞き取りテスト」や講演会などにおいて、メモをとりながら必要な情報を正確に聞き取る取り組みは続けていきながら、日頃の授業においてもまた、日常生活においても「聞くこと」の意識化を図るようにしていきたい。

○「書くこと」に關して

領域全体では市平均より2. 3ポイント下回っていた。無回答率が他の領域に比べて高く、最初から問題に取り組もうとしない傾向が強くみられる。文章を書くことへの苦手意識や抵抗感の強さを示していると思う。また「文章全体の構成」「意見を支える適切な理由を書く」ことに誤答が多かった。定期テストにおいて、毎回「書くこと」に關する出題をしてくているが、適切な構成で文章を書いたり、根拠をもって考えをまとめる点ではまだ力が不足していると思う。書く力を伸ばすために、文章をしっかりと読み、考える学習を積み重ねるとともに、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書く指導をしていきたい。

○「読むこと」に關して

領域全体は市平均より若干下回っている。文学的文章を読むことの方が説明的文章を読むことよりもやや良い傾向にあった。特に文学的文章における文脈上の語句の理解や、登場人物の關係の把握や心情の把握の正答率は高かった。ただ、同じ登場人物の心情の把握においても文章の流れをとらえた上で答えるものについては正答率が下がっている。説明的文章において、文章の展開を把握する設問での正答率が低いことと同じく、場面のつながりや人物の心情をとらえる力、文章の展開を確かめながら要旨を的確にとらえる力がまだ十分に身についていないと思われる。論の展開をおさえながら、正確に理解する力を身につけていきたい。読む力を培うためには、日常生活における読書活動を大切に、読書に親しむ態度を育て、読書生活を豊かにしていくための工夫も必要である。

○「言語事項」に關して

領域全体では市平均を1. 3ポイント下回った。通過率の低かった漢字は、第6学年の「胸囲」の読みと第3学年の「軽く」の書きであった。くり返し学習を行うことが漢字の読み書きの力の定着につながると考えられる。授業で取り組む漢字プリントでの学習や家庭学習が定着している生徒にはその成果が現れてきていると思われる。国語科として取り組んでいる漢字検定も漢字学習の意欲・関心を高めることにつながってきていると思う。今後は、漢字の字形と音訓、意味や用法なども、丁寧に指導していき、文脈に即して漢字を使用できる力を身につけていきたい。また、日頃から既習漢字を使用して文章を書くように助言・指導を徹底していきたい。

国語 教科平均通過率		中広中72. 5		広島市73. 2	
領 域	大問	小問	課 題 内 容	中広中	広島市
聞く こと	一	1	共通点の選択	94. 9	94. 9
		2	事実と意見の關係	79. 8	68. 3
書く こと	五	記述	記述する内容の整理	75. 3	81. 5
		構成	文章全体の構成	58. 4	67. 9
		記述	理由を整理して書く	66. 9	67. 2
		記述	意見を支える適切な理由を書く	57. 9	50. 9
読む こと	三	3	文脈の中での語句の理解	96. 6	96. 9
		4 ①	登場人物の關係の把握	75. 3	77. 1
		4②	登場人物の心情の把握	42. 1	41. 7
		4 ③	登場人物の心情の把握	74. 2	76. 2
	四	2	内容の把握	78. 1	78. 4
		3	要旨の把握	68. 0	68. 7
		4	文章の展開の把握	55. 1	56. 6
言語事項	二	1 ①	小 6 の漢字の読み	60. 7	66. 1
		1 ②	小 6 の漢字の書き	93. 8	96. 3
		2	小 3 の漢字の書き	68. 5	72. 0
		3	事象や行為を表す多様な語句	73. 0	70. 5
		4	文語のきまり	89. 3	90. 7
		5	行書の基礎	64. 6	70. 0
	三	1	主語・述語の關係	38. 8	32. 8
		2	小 3 の漢字の書き	86. 5	87. 8
	四	1	小 6 の漢字の読み	96. 6	97. 4

平成21年度 「基礎・基本」定着状況調査の分析(数学)

基本的な計算問題は、多くの生徒が正解している。いいかえると文章を読まなくても、式のみを見て正解が導ける問題はできている。しかし、文章をじっくりと読み、内容を理解し、じっくりと考え、取り組む力が身についていない。本来の数学とは、問題をしっかりと捉え、じっくりと思考し問題を解決する力であり、そこが数学のおもしろさである。単なるドリル学習の繰り返しに終わるのではなく、生徒がじっくりと考える数学の授業を構築していく必要がある。

【数と式】

問題1の整数や少数の計算は80%以上の通過率であり、しっかりと定着しているといえる。が、分数の除法は67%、1次式の減法は71%とやや低くなっている。2については、正負の数の利用はできるものの、正負の数を活用して理由を説明する問題の通過率は40%とたいへん低い。3の文字式をよんだり、1次方程式を立式する問題や8の文章題を読み、でてくる数量の関係を文字式で表す問題の通過率も34%、41%、34%と低く、じっくりと考えることやその考えを式を使って表現することに抵抗のある生徒が多い。

【図形】

どの問題も基本的な問題であるが、垂直な面、ねじれの位置、立方体の展開図、線対称など図形に対する大まかな知識をもっていれば解ける問題はまずまずの結果が出ているが、おうぎ形の面積や円すいの体積を求める問題では公式を忘れており、通過率は47%、38%と低くなっている。

【数量関係】

表を見て数値の関係を考えれば正解できる、反比例の対応表を完成させる問題の通過率は69%、1つのグラフから数量を読み取れば答えられる問題の通過率は70%である。しかし、文章を読んで比例の式を作る問題や、反比例の意味を問われる問題の通過率は49%、42%、また、2つのグラフを関連づけて考察する問題の通過率は47%と低く、数量の関係を理解できていない生徒も多い。

領域	大問	中間	設問のねらい	中広中	広島市
数学・教科平均				63. 5	68. 3
数と式	領域全体			63. 3	72. 4
	1	1	少数の減法ができる	89. 3	89. 8
	1	2	()を用いた式の計算ができる	96. 1	95. 1
	1	3	分数の除法ができる	66. 9	70. 6
	1	4	累乗の計算ができる	82. 0	84. 0
	1	5	式の値を求めることができる	91. 0	89. 4
	1	6	一次式の減法ができる	71. 3	77. 3
	1	7	一次方程式を解くことができる	81. 5	86. 0
	2	1	正の数、負の数の大小関係を理解している	66. 3	73. 5
	2	2	正の数、負の数が利用できる	69. 1	70. 2
	2	3	正の数、負の数を活用して考えを説明できる	39. 9	49. 3
	3	1	文字式が表す意味を読み取り、記述することができる	33. 7	49. 9
	3	2	一次方程式を作ることができる	41. 0	48. 3
	8	1	事象の中の数量関係を文字を使って表現し一般的に考えることができる	86. 5	87. 3
	8	2		33. 7	42. 7
図形	領域全体			60. 6	64. 2
	4	1	空間における平面と直線の位置関係を理解している	42. 7	37. 4
	4	2	空間における直線の位置関係を理解している	79. 2	83. 0
	5	1	おうぎ形の面積をもとめることができる	47. 2	60. 5
	5	2	円錐の体積を求めることができる	37. 6	46. 3
	5	3	立方体の展開図における面の位置関係を考えることができる	64. 0	64. 4
	5	4	線対称な図形の対称軸が分かる	78. 7	79. 3
	5	5	垂線の作図ができる	74. 7	78. 2
数量関係	領域全体			55. 5	62. 7
	6	1	比例の式を求めることができる	49. 4	58. 2
	6	2	反比例の表を完成することができる	69. 1	70. 7
	6	3	反比例の関係にあるものが分かる	42. 1	52. 4
	7	1	具体的な問題状況を解決するためにいろいろな見方や考え方をしこれをいかして問題を解決することができる	70. 2	78. 0
	7	2		46. 6	54. 2

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査結果の分析(英語)

教科全体平均において広島市の平均通過率から1ポイント下回っている。領域別に比較すると、「聞くこと」と「読むこと」では2ポイント、「書くこと」では3ポイントほど広島市の平均通過率を下回っているが、「話すこと」については4ポイントほど上回っている。

これは、昨年度から引き続き、個人またはペア活動で教科書全文を暗唱・発表をしていることやALTの先生とコミュニケーション活動におけるプラスの結果である。間違ふことを恐れず、積極的に英語を話すことができる授業ができる雰囲気大切に、今後の活動にも取り組ませていきたい。バランス良く4技能が身に付いていくように、授業形態や学習内容を工夫して授業を行っていくことがこれからの授業づくりへの課題ととらえている。しかし、英語の基本となるのは語彙の習得である。これまで授業の中でプリントや3分割ノートやパーフェクトノートを通じて授業日は毎回宿題を課しているが、提出状況は約80%である。英語(外国語)は日常生活の中で使うことがないと、忘れていくのが当たり前である。そのために毎回宿題を出し、少しでも思い出すということが次へつながるステップとなる。宿題はそのための家庭学習の1つであり、宿題ができれば、1年生の時の語彙や文法を復習していくことが今後の英語学習につながっていくと考える。

＜誤答分析による課題と今後の授業づくり＞

- ### ○ 「聞くこと」に関して

リスニング問題は大問3つで、いずれも会話文を聞き取る問題である。疑問詞で始まる質問文で誤答率が高いことがわかった。授業で文法をもう一度確認し、くり返し日々の授業でリスニング問題の強化に取り組んでいく。

- 「読むこと」に関して

辞書のひき方(アルファベットの理解)、話の流れの理解においては広島市、広島県平均通過率をどちらも2ポイント以上上回った好成績である。疑問詞や代名詞を用いた会話文の組み立てがいずれもポイントを下回っているため、聞くことと同様に重点的に指導を行う。

- ## ○ 「書くこと」に関して

今回の調査で「書くこと」の理解力が低いことがわかった。基本的な文のきまりや、つながりのある英文を書くという基礎的な知識のポイントは高く、理解していることがわかるが、さらにそれを応用して、自分の考えや気持ちを読み手に正しく伝わるように書くことに課題が見られる。習った文法を使用して、自分の気持ちや考えを英語で表現できるように書くことを徹底して指導をしていく。

- ## ○ 「話すこと」に関して

話すことは、1対1で英語のみのインタビューで試験を行った。すべてにおいて、広島県より2ポイント、広島市より3.5ポイント以上上回った好成績を得た。コミュニケーションを積極的に継続して行おうとする姿勢や、自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話すことなど間違いを恐れず英語の質問に応答していた。音読においても、日頃の授業での音読指導の成果が結果に至ったので、引き続き重点的に指導を行う。

【英語】 中広中学校 62.2 広島市 63.5

領域	大問	中間	小問	設問のねらい	中広中学校	広島市
						平均通過率
聞くこと	領域全体				57.4	59.3
	1	1		リスニング問題（質問への適切な応答）	57.9	56.5
	1	2			68.0	67.9
	1	3			44.9	52.9
	2	1			53.9	48.8
	2	2		リスニング問題 （会話の内容の理解と質問への適切な応答）	78.7	48.8
	2	3			67.4	68.7
	3	1			28.7	43.7
	3	2		リスニング問題（概要や要点の把握）	80.3	81.9
	3	3			37.1	36.8
	読むこと	領域全体				67.0
4				辞書の初歩的な使い方	82.0	74.4
6		1		適切な語を用いた会話文の組み立て	15.2	20.0
6		2			74.7	77.2
6		3			61.8	64.3
6		4			63.5	71.8
7				中心となる事柄の把握	88.2	89.9
8				会話の流れの理解	63.5	70.8
9				話の流れの理解	71.9	69.8
実技音読			内容を考えた音読	82.0	85.0	
書くこと	領域全体				49.0	52.2
	5	1		基本的な文のきまりを理解した作文	51.7	41.9
	5	2			37.6	52.6
	10	1		自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと	28.7	52.2
	10	2			39.3	46.8
	11	1		会話の場面に応じて適切に英文を書くこと	57.9	59.6
	11	2			53.4	50.7
	12			つながりのある英文を書くこと	74.2	61.8
話すこと	領域全体				80.4	76.5
	実技	1		あらかじめ読んだ文章についての問答	72.5	69.3
	実技	2		自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話すこと	91.6	90.1
	実技	3			60.1	56.1
	実技	4			80.3	71.6
		実技	関・意・態		コミュニケーションへの積極性 コミュニケーションの継続	97.8